



君の世界に芽生えるものは

くおんじゅく

久遠塾

vol. 53

久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00~21:00
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com

久遠塾 塾長

みなぞえ えいじ
皆添 英二

今年も東大生が塾スタッフに！

8月24日〜9月22日までの約1カ月間、東京大学教養学部2年の川俣愛さんが久遠塾のスタッフとして活動しました。これは、東京大学の学生が今までの生活と異なる文化や価値観に触れる「東京大学体験活動プログラム」によるものです。

川俣さんは、学校教育のほかにも学生の進路選択やキャリア選択に興



9月21日の講演会。川俣さんは「東京では学べないことを学ばせていただきました」と話していました。

味があるため、町教育委員会や白糠学園などを訪れ、インタビューを行うなど精力的に活動していました。その活動内容は9月21日に「白糠で過ごして」と題して発表されました。川俣さんは「久遠塾があることにより、新たな視点や新たなコミュニケーションが生まれ、生徒にも学校とは違う居場所が作られており、とても良い学びの形ができています」と話していました。

川俣愛さんの白糠町滞在記

私はこの夏初めて飛行機に乗り、初めて北海道に訪れました。関東平野に位置し、高いビルに囲まれた生

活をしている私にとって、霧が深く立ち込める空の様子や、力強い波の海辺、そして都内より格段に涼しい気候の中での生活、その全てがとても刺激的でした（今年は例年以上に暑かったようですが、私はただただ涼しさに感激していました）。

久遠塾では、他の講師の皆さんと一緒に授業のサポートを行ったり、塾に来た生徒とお話ししながら授業の復習などのお手伝いをしました。生徒からおススメのアーティストを紹介してもらったり、料理のお手伝いをさせてもらったり、一緒に運動したり、モヤモヤしていることを語りあったりと、勉強だけではない交流をすることができて、とてもうれしかったです。

久遠塾は学校や生徒の身近な存在で、そのような明るい雰囲気の中で1カ月を過ごすことができました。また都市部の学校とは違う課題や新しい取り組みを実際に見たりお話を伺ったりすることができて、教育に対する視野が広がったように感じています。他にも掘削技術専門学校や羊まるごと研究所、牧場などを訪れ、そこで働いている方にお話を伺いました。この土地だからできることやその仕事の楽しさなどを聞き、都市

部での生活を考え直すきっかけになりました。白糠での生活は学びの多い充実したものでした。お世話になった皆さんへ感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。

川俣さんは生徒向けの講演も

川俣さんは、9月21日に行った講演だけではなく、白糠高校で生徒向けの講演も行いました。生徒たちは、興味深く川俣さんの話に耳を傾け、たくさん質問や感想を寄せていました。

川俣さんが塾にいた約1カ月間は、川俣さんにとっても生徒にとっても有意義な時間になったと思います。



生徒向けの講演会では、川俣さんが高校生のときのことや進路選択についての話をしていました。